『陽まわりの集い』介護経験講演

６月１６日、市内在住の為田紀久男さんが“陽まわりの集い”で、自身の介護経験を講演されました。妻が５６歳で若年性アルツハイマー型認知症を発症。診断を受けた当時は絶望し、休みない介護に精根尽きそうになりながらも、それ以上に本人は苦しく不安だろうと感じ、本人の身になって寄り添い、心から優しく介護しようと心掛けたそうです。

講演の中で為田さんは、「まさか自分が５０代から妻の介護をするとは思わなかった。妻との介護生活は不安だらけだったが、私の介護で少しはやすらいでくれたのではないかと思う。妻には、２１年間介護させてくれてありがとうという思いです。」と語ってくれました。

また、本人・介護者が穏やかに過ごすコツは、認知症の人の言葉や行動を正そうとせず、まずは受容する。介護者の会に参加し介護の悩みを話したり、介護方法を学ぶことなどが大事だと教えてくれました。

“陽まわりの集い”では、介護者向けの勉強会や認知症に関する講座などを開催しており、８月１８日には専門医による認知症の講演会を行います。お気軽にお越しください。

▲為田紀久男さん

陽まわりの集い
【日時】毎月第3木曜日
10時～11時30分
【場所】プラザ八王子2階アトリエ
【参加費】100円（飲み物・お菓子代）
【問い合わせ】
香美市社会福祉協議会　あったか介護予防係
☎53-2251
香美市地域包括支援センター　☎53-3127

工科大留学生市長訪問

６月２９日、高知工科大学博士後期課程２年生の学生５名が表敬訪問に来られました。

後列左からアラム ミール ムッタカビールさん、イスラム エムディ サイフルさん、アニサ インダレザさん、マドゥカル ニキータさん、バラヨガナッドゥ バワナさんです。

今回来られた学生の皆さんは、コロナの影響により、１年時には来日できず、この春来日した学生の皆さんです。市長と日常の生活や現在行っている研究テーマなどについて、熱心に話されている姿が印象的でした。

犯罪や非行のない明るい社会をめざして

７月１日、香美市立中央公民館で社会を明るくする運動香美市推進委員会による決起集会が行われました。“第７２回社会を明るくする運動”の７月強調月間にあわせて行われたもので、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

決起集会の後、同運動推進委員による啓発物の配布等、広報活動が行われました。

第4回フラフのある風景フォトコンテスト大賞決定

今年で４回目となる香美市フラフのある風景フォトコンテストが開催され、審査結果が発表されました。香美市ものづくり会議土佐山田フラフ分科会の企画するこのフォトコンテストは、今年の４月から５月までの期間に市内で撮影されたフラフの写真を募集したものです。今回は、市内外から４５作品の応募があり、厳正な審査の結果、香美市ものづくり会議大賞と１４の協賛団体賞が選ばれました。

７月１６日、香北町の基幹集落センターで開催された表彰式では、高知工科大学のよさこい踊り子隊による演舞が披露され、土佐山田フラフが大きく舞いました。また、土佐山田フラフをリメイクした衣装を身に着けた県立山田高校ビジネス探求科の生徒の皆さんが、表彰式をサポートしてくれました。

大賞は林正男さん(高知市)の作品「天まで昇れ」に決定し、併せて龍河洞保存会賞も受賞しました。林さんには、受賞作品を大きな布に転写した表彰旗とミニフラフが贈られました。香美市商工会賞には西岡智子さん(香美市)の作品が、香美市観光協会賞には、吉村純三さん(高知市)の作品が選ばれました。吉村さんの作品は、併せて大宮こども賞と楠目こども賞も受賞しました。また、今年から参加賞としてご応募いただいた方にカミカポイントをプレゼントしました。たくさんのご応募をありがとうございました。

受賞作品は、美良布地区集落活動センターの交流スペースで、８月末まで展示していますので、ご覧ください。

受賞作品はこちら！

▶香美市ものづくり会議大賞
龍河洞保存会賞

『天まで昇れ』林 正男さん

▶香美市商工会賞

『フラフ快走中』西岡 智子さん

▶ザ・シックスダイアリー
かほくホテルアンドリゾート賞
鍵山染工場賞

『あの日』西村 瞳さん

▶香美市観光協会賞
大宮こども賞
楠目こども賞

『フラフを独り占め』吉村 純三さん

▲第４回香美市フラフのある風景フォトコンテスト　表彰式

▲大賞受賞者 林正男さん(右)へ表彰旗贈呈

▲高知工科大学よさこい踊り子隊